

「賃金等の報告」の記入例

組様式第4号

労働保険料等算定基礎賃金等の報告 (事務組合控)

① 労働保険番号 27104903215048
 ② 雇用保険事業所番号

③ 事業の名称 山下建設株式会社 TEL 06 (6582) 73△△
 〒 (535-00△△)
 ④ 事業の所在地 大阪市旭区千林3-5-△△
 ⑤ 事業主の氏名 山下 和夫 ⑥ 作成者氏名 大川 清

⑦ 事業の概要
 事業の内容 (製品名、製造工程等) を具体的に記入します。

⑧ 業種
 「⑦事業の概要」を参照し、事務組合で記入します。

⑦ 事業の概要 (具体的に記入してください)
 一般住宅建築業

⑧ 業種 35:0:2
 ⑨ 特掲事業
 該当する 該当しない
 ⑩ 令和8年度概算の延納
 する しない
 (分割納付(2割)) (一括納付(1割))

⑨ 特掲事業
 雇用保険に加入している事業は「イ。」を、加入していない事業は「ロ。」を○で囲みます。

⑩ 令和8年度概算の延納
 延納 (分割納付) の申請を希望するときは「イ。」を、希望しないときは「ロ。」を○で囲みます。

雇用保険関係の欄には記入する必要はありません。

区分	⑪ 令和7年度確定賃金総額				⑫ 令和8年度確定賃金総額			
	労災保険及び一般提出金対象労働者数及び賃金				雇用保険対象被保険者数及び賃金			
月別内訳	(1) 常用労働者	(2) 役員で労働者扱いの者 [業務執行権を有する者の指示を受け労働に従事し、賃金を得ている者等(1枚目裏面参照)]	(3) 臨時労働者 (パートタイマー、アルバイト等)	(4) 合計 (1)+(2)+(3)	(5) 被保険者 [日雇労働被保険者に支払った賃金を含む。なお、パートタイマー、アルバイト等雇用保険の被保険者とならない者を除く(1枚目裏面参照)]	(6) 役員で被保険者扱いの者 [給与支払等の面からみて労働者の性格の強い者(1枚目裏面参照)]	(7) 合計 (5)+(6)	
令和7年4月	人	円	人	円	人	円	人	円
5月								
6月								
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
令和8年1月								
2月								
3月								
賞与等年月								
年月								
年月								
合計				18人				
				⑬ 千円				⑭ 千円
				⑮+⑯ 千円				⑰(⑭) 千円

⑱ 令和7年度確定		⑲ 令和8年度概算		⑳ 令和8年度		㉑ 令和8年度		㉒ 令和8年度		㉓ 令和8年度	
承認された給付基礎日額	保険料算定基礎額	氏名	希望する給付基礎日額	保険料算定基礎額	常時使用者数	雇用保険被保険者数	支払賃金総額の見込額	賞与等臨時支払賃金の見込額	賃金総額の見込額	労災保険	雇用保険
12,000円	4,380,000円	山下和夫	16,000円	5,840,000円	人	人	円	円	円		
10,000円	3,650,000円	山下実	12,000円	4,380,000円	人	人	円	円	円		
円	円		円	円	円	円	円	円	円		
円	円		円	円	円	円	円	円	円		
	⑳ 千円	合計	㉑+㉒ 千円	㉓ 千円	㉔ 合計	㉕(㉖+㉗) 千円	㉘(㉙+㉚) 千円	㉛(㉜+㉝) 千円	㉞(㉟+㊱) 千円		
	8,030		49,082	10,220		(前年度と同額)	()				

特別加入者氏名
 「㉑」欄は、令和7年度の第1種特別加入者の氏名と「承認された給付基礎日額」、「保険料算定基礎額」を、また「㉒」欄は、令和7年度から引き続き加入を希望する者及び令和8年度から新規に加入を希望する者の氏名と「希望する給付基礎日額」、「保険料算定基礎額」を特別加入保険料算定基礎額表(資料7)を参照し、それぞれ記入します(「㉑」「㉒」欄は端数切捨て)。

一括有期事業の場合は
 令和7年度中の一日平均使用労働者数を記入します。
 (算式) $\frac{\text{令和7年度中の延使用労働者数}}{\text{所定労働日数}}$
 (端数処理) 小数点以下の端数は原則として切捨てますが0.1人~0.9人となった場合は1人としします。

㉔ 令和8年度賃金総額の見込額
 令和8年度の賃金見込額が、前年度の2分の1以上、2倍以下の場合は、「㉕」~「㉗」欄の記入を省略し、「㉘」欄に「前年度と同額」と記入します。前記以外の場合は、「㉕」~「㉗」欄に見込額を記入します。